

第2回防災講演会に20名以上が参加！

「揺れへの備えー家具転倒防止を中心に」実践セミナーで 新発見とやる気の誕生か？！



いよいよ家具転倒防止講座の始まり始まり

家具対策の三つの柱

- ①家具の置き場所から見直しを
出口の確保をしましょう
- ②家具内収納の見直しを
重たいものは下、軽いものは上
- ③家具転倒防止を
転倒防止器具はあわせ技で効果を

今年度の防災講演会は、10月6日（土）午後6時からマルニの出張防災教室を招き、「揺れへの備えー家具転倒防止を中心に」実践セミナーを開催しました。23名の方に参加頂き、有意義な二時間となりました。

阪神・淡路大震災において、住宅の全半壊をまぬがれたにもかかわらず、全体の約6割の部屋で家具が転倒し、部屋全体に散乱したとのことです。しかも、ただ倒れるだけでなく、食器が飛散し、冷蔵庫やピアノは移動してしまい、テレビが飛ぶといった、日常では考えられない現象もありました。建物が無事でも、家具が転倒することによってその下敷きになってケガをしたり、逃げ遅れるなどの被害が発生するようになります。そのためにも、室内での被害を防ぎ、安全な避難経路を確保するためにも家具を固定しておくことが重要です。

講師からは、「災害時に自力で安全な場所に移動できる」ためにも、家具転倒防止は各自が備えなければならないこととして、さまざまな事例についてアドバイスを頂きました。

一部ですがご紹介しておきます。

「その時はその時よ」では、いきません！！



飛散防止フィルムを貼る手順について



貼ったガラスを割って見せて頂きました



思わず身を乗り出す参加者のみなさん



食器棚の開き戸の留め具も針金一本で

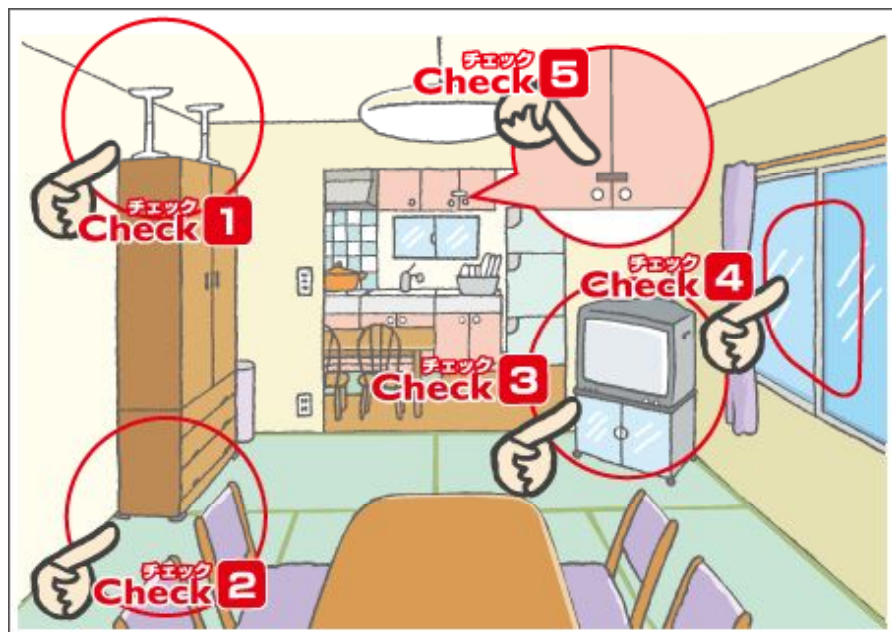
タンスや書棚などの家具固定はあわせ技で

次の5つの方法が考えられますが、それぞれに一長一短がありますので、併用利用で耐震性をアップさせることがのぞましいとのことです。

①「金具ネジ止め」耐震性大 しかし、釘・真鍮ではなく、ネジ・スクリュー釘によることが肝要です。②「鎖止め・紐止め」耐震性中 緩みなく張った状態でなければなりません。③「つかい棒」耐震性小 天井・家具の強度を確保することが必要。④「タンスストッパー」耐震性小 壁が必要で、床は畳や絨毯ではなくフローリングなどの強度が必要。⑤「粘着マット」耐震性小 接着面が必要で電化品対策などに使用。これをあわせ技で、③つかい棒＋④タンスストッパーや③つかい棒＋⑤粘着マット、③つかい棒＋上下板にすると耐震性は大きくなるとのことです。

ガラス飛散対策は

まず、窓ガラスに限定すれば、厚めのカーテンやブラインドを活用することによって室内への飛散を幾分か防ぐことができます。しかし、いつも閉めておくわけにもいきませんので一般的には飛散防止フィルムを貼ることで、割れても室内に飛び散らないようにしておくことがのぞましいです。



しかし、自前で貼るためには、市販のフィルムに附属の道具では、充分ではなく、かえって失敗しかねません。そこで、使い勝手の良い道具一式を自主防災会で備えておいて貸し出す方法をとったらどうかとのアドバイスもありました。

また、食器棚の中に、エアーキャップ（通称プチプチ）を敷くことで食器が滑りにくくなったり、開き戸の留め具を針金で作ったりとお金をかけなくてもできる方法も教えて頂きました。

さあ、みなさんも左の図で「我が家」のチェックをしてみてください。ただし、この図にも不十分なところが見受けられますので、注意してください。

ご要望に応じて

ガラス飛散防止フィルム貼り付け教室開催

3日に開催した第3回役員会において、防災講演会に対する意見を頂く中、ガラス飛散防止フィルムの貼り方を実際にやってみたいとの要望も出され、下記のとおりマルニさんのご協力をえて開催することとなりました。なお、当日は他の家具転倒防止グッズの展示・注文扱いも行いますので、貼り付け教室に参加されない方も、足をお運び下さい。最少開催人数は10名からとなっておりますので、改めてのご案内と申し込みを受付させていただくこととします。

12月16日(日)午前10時から2時間程度

「テレビが飛んでくる？」

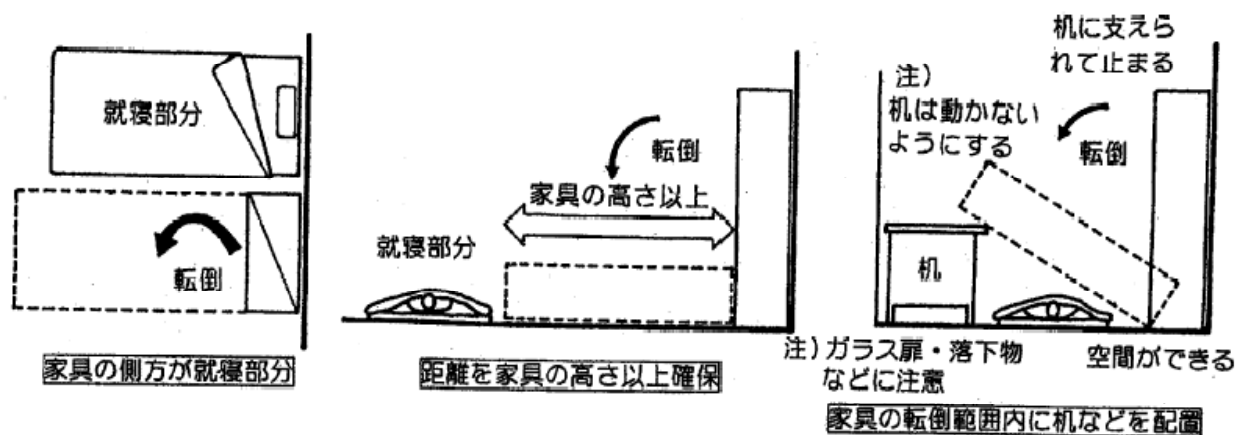
608号室 井上 郁子

講師の方の一言で、今までの認識の甘さを痛感しました。大地震とは言っても、家具はゆっくりと倒れ、物は落下し、窓は何か当たることによって割れるというイメージの中での防止策しか考えていませんでしたが、激しい揺れで小さな家具は飛んでくるし、窓ガラスはねじれ現象でも割れるということに改めて気づかされました。

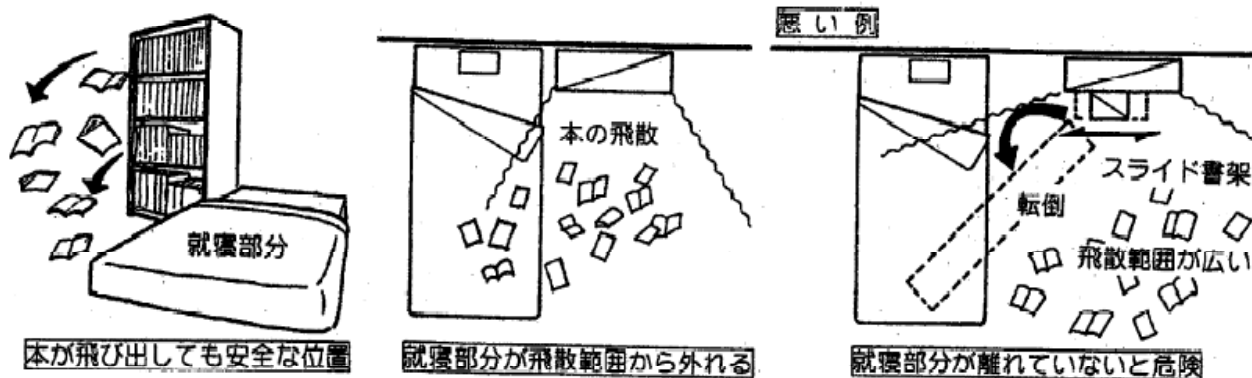
ただ、今まで一つだけ心に引っかかっていたのは、止め具などによっては家具に傷が付いたり、見栄えが悪いということでした。それゆえ、身の安全と見栄えと地震発生の確率の狭間で揺れ動いていましたが、リフォームも含め、家具の配置換えやより強固な転倒防止策など真摯に取り組もうという方向に固まってきました。お店での買い物かごによる安全確保など早速取り入れたいアイデア満載の実践セミナーで、とても有益な時間を過ごさせて頂きました。御世話してくださった皆様、有り難うございました。

家具固定前にまず配置の工夫を

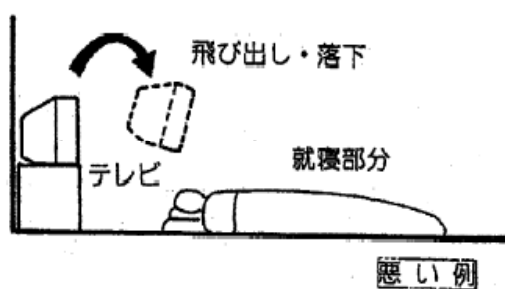
セミナーの中でもお話がありましたが、家具転倒防止を行う前に、家具の置き場所から考えることが強調されていましたが、「家具転倒防止等の手引き」（家具の転倒防止対策に関する検討委員会）から引用しておきますので、参考にしてください。



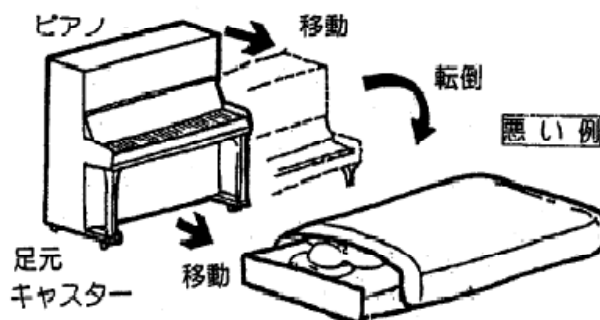
家具と就寝部分の関係



本棚と就寝部分の関係



家電類と収納部分の関係



ピアノと就寝部分の関係

お知らせ

当初今年度事業計画で予定しておりましたクロスロードゲームにつきましては、家具転倒防止の取り組みを重ねることとし、来年度以降の取り組みとすることを役員会で確認しましたので、ご了承をお願いします。